手のひらから始まる橋

メンバー：大場琉以、小椋純成、松浦悠生

教員：倫理子先生、井戸川先生

目次

１，作業計画について

２，コンセプトまたモデルの説明

３，作業内容の説明

４，工夫した箇所の説明

５，まとめ

計画	ジャングルブリッジ班
4月	何を作成するか話し合い　(城を作りたい「鶴ヶ城」)
5月	スチレンボード家作成　　(どのくらい難しいか実感)
6月	難しく断念 →2班に分かれて橋作成
7月	1班　作る橋を決める
8月	木材のカット、図面の確認
9月	足場、柱の製作→完成
10月	手の肉付け　橋梁模型の塗装
11月	手の塗装　装飾　川の制作　土台の作成
12月	模型の完成　発表原稿の作成

【コンセプト】

・自然と共存し、自然に溶け込むような橋を作りたいと考えたため。

・かずら橋の力強い印象、ゴールデンブリッジの迫力と珍しさを合わせたらインパクトの強い、記憶に残るような橋になると考えたため。

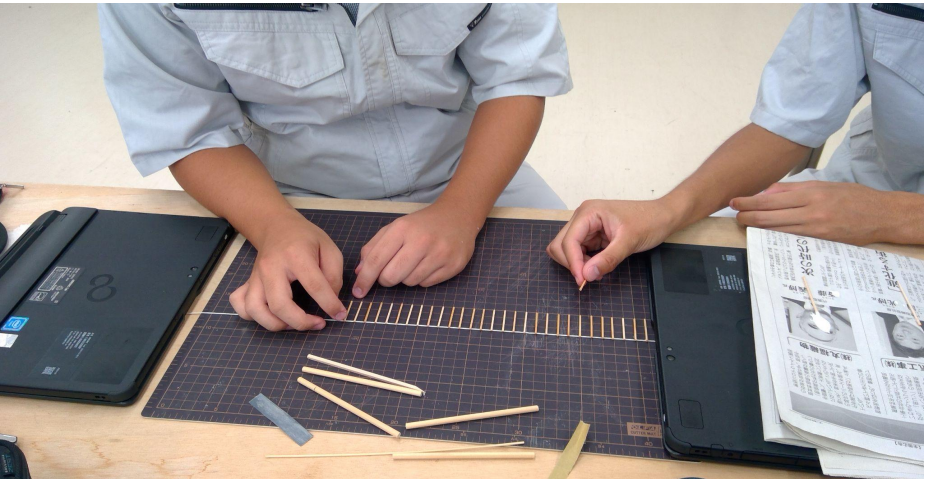
【参考にした橋】・かずら橋（徳島県）＋ゴールデンブリッジ（ベトナム・ダナン）



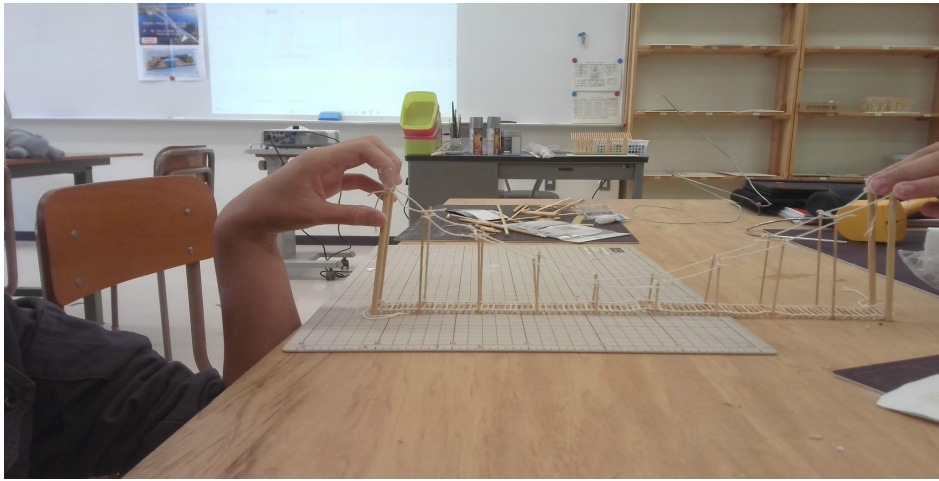
＋



①足場の組み立て



②柱の組み立て、完成図の確認



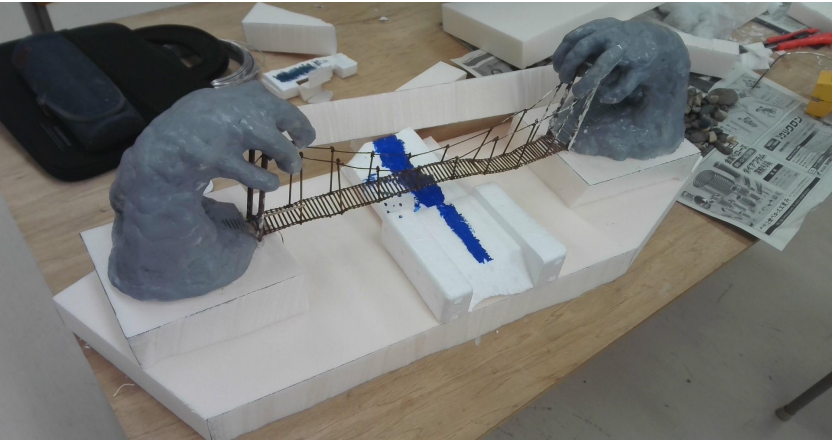
③紙粘土での手の製作



④手の完成、塗装の完了



⑤土台の位置、イメージの確認



⑥苔の装飾または塗装



⑦手の土台の固定



⑧芝の塗装、貼り付け



⑨川の塗装、装飾



⑩各パーツの最終取り付け



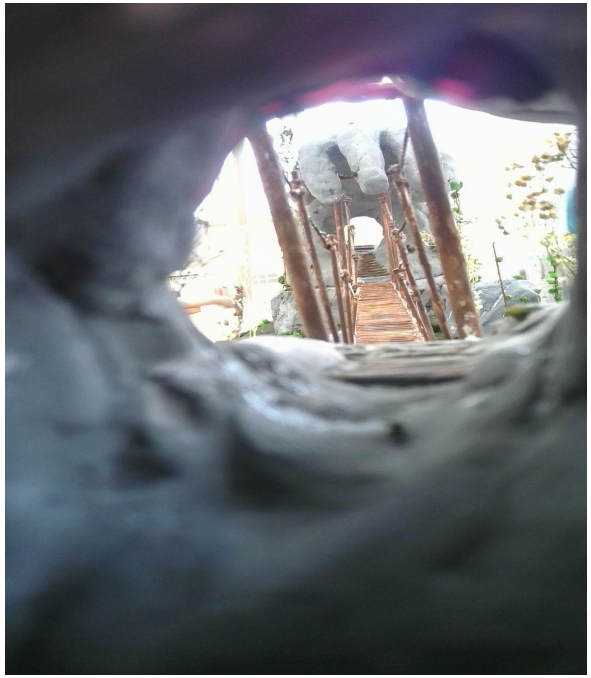
作業工程　完成図



①



②



③



④




⑤

小 ネ タ




化石の問題の答えはこ
こです！！

工夫したところ



・つまようじを使って土台を固定した



・紙粘土の手の中に針金を入れて補強した

・苔を暗い緑色に塗装して周りになじむようにした





・川の色を統一ではなく、

だんだんと色が変わるようにした

【まとめ】

○計画を事前に立てて、行動することの大切さを学んだ。

○みんなで意見を共有し、協力して製作すること。

○想像力やアイデアを考える楽しさや大切さを学んだ。

ご清聴ありがとうございました！